

# 「感染しない」「感染させない」を合言葉に コロナに負けないぞ！

有田史談会 月例通信

事務局 中村貞光  
090-4740-4752

## 坂井会長からのメッセージ♪

■ 新型コロナウイルス影響下での東京五輪が8月8日に無事終了し、日本史上最大58個（金27、銀14、銅7）を獲得しました。皆さんはどの種目を応援されたのでしょうか。私は背の高い外国人を相手に3点シュートを放つ女子バスケのきびきびした動きに感動しました。

また、九州地区は停滞する前線の影響で記録的な大雨が続き、有田も大雨特別警報レベル5が発令されましたが、大きな被害もなく安堵しました。

武雄市では六角川が氾濫し、浸水被害が広がりました。15日に橘町へ初盆参りに行きましたが、途中で私の背丈ほど浸水した所があり、畳や家具の後始末をしておられ心が痛みました。

新型コロナウイルスが全国に拡大し、40都道府県が感染爆発し佐賀県も例外ではありません。ワクチン接種を終えた方も安心せず、マスクの着用、消毒、換気、不要不急の県外への往来、会食の自粛など基本的なコロナ対策の徹底と、合わせて熱中症にならないようこまめに水分補給をし、健康管理に最大限の配慮をお願いいたします。

坂井勝也

## 黒髪山伝説大蛇退治と地名

&lt;第1回&gt;

栗山慎悟

### ◎黒髪山大蛇伝説とは

西暦1150年ごろ、有田郷の東北にそびえる黒髪山の麓の白川の池に棲んでいる大蛇が、村人や家畜を襲い畑を荒らすので、高瀬（現武雄市西川登）の万寿姫をおとりにして、大蛇が襲ってきたところを、鎮西八郎為朝が強弓で退治するという伝説。

大蛇伝説は、有田町・武雄市（山内町・西川登）を舞台として展開するのであるが、佐賀県長崎県の広い地域に伝承されていて、それにまつわる地名も多く残っている。

【黒髪山】くろかみざん（やま）。

有田町と山内町の二町の境をなす標高516mの山。昭和12年（1937）7月に黒髪山県立自然公園に指定された。比較的手軽に登れる山で、老若男女を問わず人気があり県内外から訪れる人も多い。村を荒らし人馬を襲う大蛇が棲んでいたと伝わる山。

黒髪山山名の由来は諸説ある。

- 一、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）が黄泉の国の黄泉津醜女（よもつしこめ）から逃れる時、逃げながら黒髪を投げたのでその黒髪が黒髪山になった。
- 一、昔、天竺の大王が我が朝に飛んできて、髭（ひげ）と髪の毛を納めたので黒髪山という。
- 一、摩訶陀国（まかだこく）の大王が、この山に住み黒髪を切って霊窟に納めたので黒髪山という。
- 一、弘法大師が祈願をなしたとき、黒髪を剃って窟中に納めたので黒髪山という。
- 一、樹木が鬱蒼と茂ったさまが黒髪に似ている。

【天童岩】てんどういわ。

黒髪山山頂に突き出た奇岩。

佐賀県内、長崎県の宮地区・波佐見・三川内に伝わる大蛇伝説に登場する大蛇は、黒髪山に棲み天童岩を巻き村を睥睨して、村人を襲い田畑を荒らしまわす。また、天童岩に巻きついているところを鎮西八郎為朝の矢に射られ退治されるくだりになっている。大蛇は天童岩に七巻き半巻いていたと伝わるが、頭に巻く鉢巻は頭に一回巻いて八巻なので七巻半は八巻にわずかに足らなかった。『天童岩 大蛇が巻いた 七巻半』（有田いろはかるた）

伊弉冉命（いざなみのみこと）が、天の岩船に乗ってこの岩に遊びに来て岩上を飛遊して羽衣を翻しているのを、里人が見て天童が降りてきたと思い天童岩名付けた。



黒髪山と天童岩（有田ダムから撮影）

## 事務局は ホット一息！（▽▽）

■ 今月から栗山さんの投稿を連載で開始します。おかげで紙面が充実いたしました。来月以降、他の方の投稿も大歓迎です。なお投稿の文字数や題材など自由です。紙面は拡大できますのでどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。今月は「事務局の独り言」はお休み出来ました。感謝！！